

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677100119
法人名	有限会社 ジェーケイエル
事業所名	グループホームねむの樹
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町有里6284番地1 (電話) 0994-62-8030
自己評価作成日	平成26年12月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年1月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「私達は、貴方の住み慣れた地域の中で、家族のように接し心の通うケアを致します」という理念の下に、利用者一人一人が日々を穏やかに過ごせるようにケアを行っております。  
施設の敷地内にはバナナの木や、畑があり、さまざまな作物の収穫などを行っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿屋市郊外、のどかな田園地帯の閑静な地に立地しているグループホームである。広い敷地には菜園が作られ、利用者が管理して季節ごとの収穫を楽しんでいる。近隣に民家が少なく地域との交流が難しい立地環境ではあるが、校区の運動会・夏祭り見学、近隣の施設との交流、高校生の実習の受け入れ、校区の中学校からハンドベル演奏の来訪があるなどホームが孤立しないように積極的に地域交流に努めている。医療との連携においても訪問診療と訪問看護ステーションとの契約により利用者の健康管理が密に図られて本人・家族の安心に繋がっている。又、重度化・終末期ケアにおいても本人・家族の思いや希望に沿って主治医・訪問看護・家族・職員がチームとなり看取り支援も行なわれている。家族との関係も良好で年3回程行われている家族会は毎回多数の参加があり、ボランティアの出し物や食事を楽しみながら利用者・家族・職員のコミュニケーションの機会となっている。又、運営推進会議も毎回全家族に案内を出して参加を促しており、平日ではあるが多数の参加が得られ、ときには自主訓練の避難訓練を行って家族からの気づきや意見をもらうなどホームの安全対策や運営に活かされる会議となっている。管理者・職員はホームの現状をしっかりと把握して問題点や重点課題を的確に捉え、更なる質の向上を目指している。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義に沿った理念を掲げている。	地域との関連性を重視した理念を作成している。理念はホールに掲示し、パンフレット、重要事項説明書にも明記している。必要に応じて職員会議等で確認・振り返るなどの機会を設けて理念の共有と実践に繋げている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの学校や、地域の民生委員との交流はあるが、地域との交流は今後の課題として、交流を増やしていきたい。	地域との交流が難しい立地環境ではあるが、校区の運動会や夏祭りに出かけて積極的に交流に努めている。また、近隣の施設や校区の中学校との交流があり、毎年クリスマスカードや年賀状が届き、ハンドベル演奏にも訪れて利用者を楽しませてくれる。高校生の実習や地域ボランティアの受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	施設内研修により、職員の力はついてきているが、それを外に発信する機会がない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今まで市の職員と家族のみの参加であったが、民生委員も参加していただけることになり、今後地域の方々等さまざまな人に参加していただけるように取り組みめればと考えている。	運営推進会議は民生委員・家族・行政等の参加を得て2ヶ月に1回開催している。家族は代表を決めずに毎回全家族に案内を出して参加を促し、多数の参加が得られている。避難訓練後に会議を開催することもあり、家族や参加者から気づきや意見をもらうなどホームの安全対策や運営に活かされた会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	代表者が担当者の下に定期的に訪問し、必要事項の確認やアドバイス等をいただいている。	毎回、運営推進会議に市担当者の出席がありホームの実情や取り組みを伝えている。また、生活保護受給者もおり、担当者との連携も図られている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一年に2回以上社内研修を行い、身体拘束に結び付かないようケアを見直し、話し合いを行っている。	運営規程に「常に入居者の尊厳と主体性を重視し、拘束を安易に正当化せず拘束しないケアを実践する」と拘束に対するホームの方針が明記されている。毎年社内研修を行い、ことばによる拘束・虐待についても日常的に話し合ったり、気づいたら注意し合うなど職員に意識付けを行っている。日中は玄関は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。外出の察知があれば付き添って散歩に出かけるなどして対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に社内研修を行い、普段のケアと合わせて話し合いを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業を利用している利用者があり、必要な方がいれば内容の説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結、解約又は改定等がある際は、文章にて説明を行い、同意を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段の入居者との会話や、運営推進会議、面会等に意見を聞くようにしている。重要事項説明書には外部の相談機関を掲載しており説明している。</p>	<p>日常の面会時や電話連絡時、家族会、運営推進会議等で意見・要望等を聞き出すように努めている。運営推進会議及び家族会は毎回多数の参加が得られており、特に家族会は食事をはさむなどで職員とのコミュニケーションの機会ともなっている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議やケア会議の時などに意見を聞くようにしているほか、普段から意見を出してもらえようように話しやすい雰囲気を作っている。</p>	<p>毎朝夕の申し送りや各棟ごとのケア会議、合同の職員会議で職員の意見提案などを話し合っ運営やサービス向上に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>役職手当や、特定の研修受講後、資格を取得した際などに賃金アップを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員全員に外部である研修を告知し、参加できるよ勤務交代等行うほか、社内研修も行うようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修での意見交換等や、代表者同士のネットワークはあるが、職員間での取り組みは無い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>アセスメントや体験入所により本人の困っていること、不安なこと、要望等を尋ねるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>アセスメントや体験入所の中で家族の困りごとや不安なこと、要望等尋ねるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>アセスメントや体験入所の中で必要な支援を見極められるようにしている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は本人の出来ていることや、助け合っている場面では見守りや励ましを行い、出来ない部分を一緒に行ったり支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時や家族会を利用し、話し合いをしている。時には電話で相談をすることもある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同級生や近所の方の面会がある入居者もいるが、全体的に少ない。	家族の協力をもらいながら一時帰宅、墓参り、冠婚葬祭、買い物、外食などこれまでの生活の継続や馴染みの人や場との関係継続の支援を行っている。友人知人の来訪もあり、居室にテーブルをセッティングしてゆっくりとお茶を飲んでもらうなど訪ねやすい雰囲気作りに配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時には入居者同士で言い合いになることもあるが、一方ではお互い助け合う様子が見られる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの契約が終わると、施設から本人や家族に連絡をすることはない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との会話により、それぞれの思いの把握に努め、会議にてそれぞれの希望に添えるよう検討している。	ソファでゆっくりとした時間を過ごしながら会話をして思いや意向を聞き出すように努めている。発語の少ない利用者からは表情や言動、少しの発語も聞き逃さないように努めて本人本位に検討している。把握した内容はケアノートに記録して職員間の情報の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントやモニタリング、家族からの聞き取りにて、さまざまな方向からの検討、把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の中で、動きの変化等をよく観察し、記録に残している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、職員それぞれがモニタリングを行い、会議にて話し合っている。その他、関係者からも助言をいただき、介護計画を立てている。	本人・家族の意向や思いなどを聞いて個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い、職員間で話し合っ必要に応じて見直しを行い、変化がなくても定期的に見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>細かな変化について、個別に記録しており、会議等で話し合い、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族からの意見を積極的に取り入れている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域との連携は取れておらず、今後検討が必要である。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時に家族との相談の下かかりつけ医を決め、定期的を受診、診察を行い、適切な処置ができるように支援している。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族にお願いしているが、本人・家族の状況に応じてホームからも柔軟に対応している。家族が連れて行く際は必要に応じてホームより情報提供書を作成している。入居時に家族より緊急時の搬送先も確認している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週一回の訪問看護にて日常の様子を伝えるようにしており、緊急時には電話相談や、実際に見ていただき、支持を仰いでいる。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	必要な情報を病院側に提供するようにしている。他にも定期的に様子を見に行き、必要なことがあれば病院から連絡をいただけるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	事前に家族等と話し合いを行い、家族、医師、事業所の合意の下訪問看護等を利用しながら看取りを行っている。	重度化や終末期に向けたホームの方針は指針を作成して入居時に説明し、家族の希望も聴取している。入居後は主治医の判断のもと家族と方向性を共有してホームでの希望があれば主治医・訪問看護・家族・職員がチームとなって看取り支援にも取り組んでいる。職員は消防署主催の普通救命講習を受講して緊急時にも対処できるように備えている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	ほとんどの職員が普通救命講習を受けており、適切な処置ができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>可能な限り毎月避難訓練を行っており、すべての職員が適切に動けるようにしている。</p>	<p>年1回消防署立ち会いの避難訓練と毎月夜間を想定した自主訓練も行っている。訓練後に運営推進会議を行ったこともあり、参加した家族等から気づきや助言をもらうなど安全対策について話し合っている。スプリンクラー・自動通報装置は設置済で、備蓄も確保されている</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉を選び不快な思いをしないよう心掛けている。	「家族のように」との理念もあり、利用者が馴染みやすいことば使いや方言などで対応しているが、馴れ合いや不快感を与えないように配慮して個々に応じた声かけや対応を行っている。内部研修でもケアのあり方を振り返り職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者と普段から会話をするように心がけており、思いに気付けるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れは職員が決めているが、その中で可能な限り希望に添えるように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に散髪をできるようにしている。その他外出時には自己にて洋服を選んでもらったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	どのようなものが食べたいかなど、普段の会話にて聞いたりし、皮むき等できる方にはいただいている。	利用者の嗜好を取り入れながら栄養バランスのいい家庭的な食事を提供している。ときには、ちまき作りなど利用者に力を発揮してもらっている。花見や家族会時は家族もともに外食を楽しんでもらい、気候のいい時期は庭でお茶や食事をすることもある。また、希望に応じて個別の外食も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録しており、一日に適切な量の水分や栄養が取れるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、必要であれば介助等の支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の時間を記録しており、その人に会った時間で声掛けを行うようにしている。	排泄チェック表を作成して個々の排泄パターンを把握し声かけ誘導でトイレでの排泄を支援している。また、安易におむつを使用しない方針で個々に応じた排泄方法を検討して支援している。入居後に改善された利用者も多い。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は柔らかいものにし、毎日リハビリを兼ねた運動をしている。自然排便が困難な方は、内服にて調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	職員が入浴の曜日、時間を決めてしまっている。入浴の順番のみ入居者の希望を聞く場合がある。	基本的には一日おきであるが、利用者の希望や身体状況に応じて柔軟に対応している。入浴をためらう方には介助者を変更したりタイミングや声かけの工夫などでスムーズに入浴してもらえるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々体調を考慮して、必要であれば休息していただいたり、夜間にしっかりと休息できるように日中起きていただいたりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれがどのような薬を使用しているかすぐにわかるようにしており、状況の変化や、内服の変化があった際は記録に残すようにしている。服薬は、毎食後職員が渡すようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事等、昔していたことは積極的にしていただき、昔聞いていた曲を聴いたり、歌ったりしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望にて外出できることはほとんどないが、可能な限り散歩や日光浴などホームに閉じこもらない生活を支援している。利用者によっては家族の協力をもらって外出している方もいる。	日常的には近隣の散歩や菜園の手入れ、庭でお茶を飲むなど行っている。ときには、初詣、地域行事見学、近隣の施設の行事参加、個別の外出等に出かけ、花見や家族会時は家族も共に外食をするなど家族の協力をもらいながらホームに閉じこもらない生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者本人が管理するお金は無いが、病院受診等外出時に本人の希望にてジュースを買ったりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人からの希望があれば、家族への電話をしたりしており、家族にも理解していただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個室は、利用者の希望に沿って家具を配置したりし、ホールにはその季節にあった飾りをするなどしている。</p>	<p>ホームは木のぬくもりが感じられ、壁には職員手作りの季節の作品が飾られて温かみのある造りとなっている。食事のテーブルとホーム内随所にソファが置かれ、それぞれにお気に入りの場所でゆっくりとくつろげるように配慮されている。台所もオープンで食事の準備の様子や匂いなどは生活感を与えてくれる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>くつろげるようにソファ等を設置したり、楽しく食事がとれるように席を考慮したりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	家具等は、家で使っていたものを持ち込めるようになっており、他にも思い出の品などを飾れるようになっている。	居室は木のぬくもりが感じられる温かみのある部屋となっており、畳とフローリングの部屋がある。家具等の持ち込みは少ないが家族の写真、飾り物、ラジオ、ぬいぐるみなど馴染みの物品で居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	利用者がわかりやすいよう色や飾りを工夫した表示を行っており、手すり等を設置することにより安全に利用することができる。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない